

## 「マリンライナー」グリーン車ディスプレイの変更について

2020年3月30日  
四国旅客鉄道株式会社  
西日本旅客鉄道株式会社

香川県（高松駅）と岡山県（岡山駅）を結ぶ、快速「マリンライナー」の1号車は、2階建ての車両となっており、2階部分にはグリーン席、1階部分には普通車指定席があり、また運転室越しの展望が堪能できるパノラマグリーン席があります。このたび、1号車ディスプレイコーナー（2階部分への階段に設置）の展示品を、現行の造花から変更し、両県の魅力を発信できる作品に更新いたします。

### 1 対象

快速「マリンライナー」の1号車（グリーン席階段のディスプレイコーナー2カ所）高松駅～岡山駅間を走行する全ての快速「マリンライナー」が対象です。

### 2 展示期間

2020年3月30日より約1年間

### 3 展示作品

#### （1）香川県（高松方）

JR四国の観光列車「四国まんなか千年ものがたり」で使用している酒器等の監修を行っており、国の重要無形文化財保持者（人間国宝）である、漆芸家の山下義人さんが講師を務める「香川県漆芸研究所」の作家の皆様をはじめ、香川県内作家の方々の作品を展示します。

#### ①北岡 道代 「蒔絵縞文小鉢」

ろくろでひいた櫛の木地に内側は木目を活かした擦り漆仕上げをし、外側は下地をしたあと、黒漆を5回塗り、平蒔絵の技法で線模様を組み合わせることで動きをつけて表現しています。

#### ②山下 亨人 「蒔絵酒器」

お酒を飲む人に美味しく飲んでもらうために自分の頭にある感性のみで作った柄です。これでもっとも少し多めに飲めたら良いなと思い制作しました。

#### ③山田 果林 「存清宝相華蓋付椀」

唐草文様的一种である宝相華は唐草に架空の植物を組み合わせた空想的な花文です。日本では奈良・平安時代に装飾文様として盛んに用いられていました。唐草と蓮をモチーフに香川県の伝統技法の一つである存清を用いて制作しています。

#### ④山田 万里江 「うるし小箱七宝」

お気に入りのアクセサリや小物などを入れることを考えて作りました。空と海をイメージした青色の上に『繋ぐ』という願いが込められている七宝模様を描いています。この箱に入れた物との縁や思い出が少しでも長く残るきっかけになればと思います。

⑤泉谷 麻紀子 「堆漆香合唐傘」

和傘をモチーフに茶道具の香合を堆漆で作りました。堆漆とは漆をガラス板に120回塗り重ね、5mmくらいの漆だけの板を作ります。それを張り合わせ加工したものです。色漆の層の美しさを見ていただきたいです。

⑥漆原 早奈恵 「梅文碗」

富山県で漆を学んでいたころ、無性に香川の「あん餅雑煮」が恋しくなり、お雑煮を食べるためのお椀を作成しました。百花に先駆けて春を告げる、我が家の庭で咲き誇る白梅を蒔絵で施し、新春の喜びと、ふるさと香川の美味しいお雑煮に想いを馳せた作品です。

(2) 岡山県 (岡山方)

JR西日本岡山支社「ふるさとおこしプロジェクト」では、岡山・備後エリアに眠る、ここにしかない「いいもの」を見つけ出して評価・認定し、さまざまな活動を通して地域を活性化し、全国にその魅力を発信しています。その具体的な取り組みが「ふるさとあっ晴れ認定」で、その認定委員の中から2名の方の作品を展示します。

①萬木 善之 (フラワーエンターティナー・ふるさとあっ晴れ認定委員) 「フラワーアート」

②中村 文美 (書家・ふるさとあっ晴れ認定委員)

作品名「瀬戸内をつなぐ紺碧の花」

快速「マリンライナー」の車窓から見える「パノラマに広がる瀬戸内の海と多島美」をデニム生地 of 深い紺碧のお花で表現した作品です。萬木氏の作品のタイトルや制作意図を、中村氏の書により紹介します。


(ふるさとおこしプロジェクト) <https://jr-furusato.jp/>

(ふるさとあっ晴れ認定) [https://jr-furusato.jp/about\\_catalog/](https://jr-furusato.jp/about_catalog/)

【香川県】(高松方) 香川県漆芸研究所の作家及び作品

	<p>キタオカ ミチヨ マキエシマモンコバチ 北岡 道代 「蒔絵縞文小鉢」</p>
	<p>ヤマシタ コウジン マキエシュキ 山下 亨人 「蒔絵酒器」</p> <p>お酒を飲む人に美味しく飲んでもらうために自分の頭にある感性のみで作った柄です。これでいつもよりも少し多めに飲めたら良いなと思い制作しました。</p>
	<p>ヤマダ カリン ゾンセイホウソウゲフタツキワン 山田 果林 「存清宝相華蓋付碗」</p> <p>唐草文様的一种である宝相華は唐草に架空の植物を組み合わせた空想的な花文です。日本では奈良・平安時代に装飾文様として盛んに用いられていました。唐草と蓮をモチーフに香川県の伝統技法の一つである存清を用いて制作しています。</p>
	<p>ヤマダ マリエ ウルシコバコシッポウ 山田 万里江 「うるし小箱七宝」</p> <p>お気に入りのアクセサリや小物などを入れることを考えて作りました。空と海をイメージした青色の上に『繋ぐ』という願いが込められている七宝模様を描いています。この箱に入れた物との縁や思い出が少しでも長く残るきっかけになればと思います。</p>
	<p>イズミタニ マキコ ツイシツコウゴウカラカサ 泉谷 麻紀子 「堆漆香合唐傘」</p> <p>和傘をモチーフに茶道具の香合を堆漆で作りました。堆漆とは漆をガラス板に120回塗り重ね、5mmくらいの漆だけの板を作ります。それを張り合わせ加工したものです。色漆の層の美しさを見ていただきたいです。</p>
	<p>ウルシハラ サナエ ウメモンワン 漆原 早奈恵 「梅文碗」</p> <p>富山県で漆を学んでいたころ、無性に香川の「あん餅雑煮」が恋しくなり、お雑煮を食べるためのお碗を作成しました。百花に先駆けて春を告げる、我が家の庭で咲き誇る白梅を蒔絵で施し、新春の喜びと、ふるさと香川の美味しいお雑煮に想いを馳せた作品です。</p>

【岡山県】(岡山方) ふるさとあつ晴れ認定委員及び作品

	<p>マンキ ヨシユキ 萬木 善之 「瀬戸内をつなぐ紺碧の花」</p> <p>快速「マリンライナー」の車窓から見える「パノラマに広がる瀬戸内の海と多島美」をデニム生地の深い紺碧のお花で表現した作品です。</p> <p>ナカムラ アヤミ 中村 文美 (書により作品名を紹介)</p>
---	--